# 突発性難聴における

# 高気圧酸素治療について

突発性難聴の原因は明確になっていませんが、神経を通して音を伝える「内耳」の循環 障害やウイルス感染、ストレスなどの関与が考えられています。

高気圧酸素治療とは、治療タンク内を大気圧より高い気圧に加圧し、高濃度の酸素を吸入することで血液中に溶け込む酸素量(溶解型酸素)を増やすことができます。高気圧酸素治療により溶解型酸素の量を増やすことで、低酸素状態にある「内耳」への循環障害の改善が図れることから治療法の一つとして選択されています。

### 当院には耳鼻科がないため、耳鼻科専門医の紹介状が必要となります。

【治療の流れ】:事前に、先生からのご紹介の連絡などあればスムーズです。

- ② 受付・問診:外来で受付を行い、看護師がその日の体調確認を行います。
- ③ 診察: 医師が問診し、治療可能かを判断します。高気圧酸素治療について説明を行います。
- ④ 準備:高気圧室へ移動し、専用の治療着に着替えていただきます。その後、持ち物チェックを行い、 準備を行い装置の中に入って頂きます。
- ⑤ 加圧:約15分~30分かけて1気圧を2気圧まで上げます。

(耳に違和感がありましたら「耳抜き」を行っていただきます。スタッフも常駐しております。)

⑥ 治療中:2 気圧まで加圧したらそのままの状態を 60 分保持します。

(治療中は TV、ラジオ、音楽鑑賞、映画鑑賞など、ご希望があればスタッフへお申し付け下さい。可能な限りご準備いたします)

- ⑦ 減圧:10 分~15 分かけて元の 1 気圧まで戻します。
- ⑧ 治療終了後:装置から出た後耳の違和感や痛みが無いか確認し、再度外来へ移動します。その際、 違和感ありましたら外来看護師へお伝えください。また、次回の治療予約確認を行います。
- ⑨ お会計:お会計を受け付けで済ませましたら治療終了となります。

#### ■治療前の確認事項

①耳抜き(耳抜きは当日担当するスタッフが説明いたします) ②閉所恐怖症

治療中は装置内の気圧が変化し鼓膜の内外で気圧差ができるため、耳痛と言う耳の痛みを生じる事があります。トンネルの中に入った時や飛行機に搭乗した時に耳がボーッとする症状が耳痛であり、この耳痛を解消するためにはご自身で耳抜きを行っていただく必要があります。なお、風邪や花粉症により鼻詰まりを起こしている方は、耳抜きが出来ないことがあります。その際は治療が行えない可能性があります。

当院の高気圧装置は全面アクリル板で装置内から部屋全体を見渡す事ができますので安心して治療を行って頂けます。ただし、稀に装置に入った際に不安やめまいといった症状が出る場合があります。その際は、高気圧酸素治療装置そばにスタッフが常駐しておりますので、遠慮なくお声かけ下さい。



当院設置の高気圧酸素治療装置です。

### ■ 注意事項

- ① 治療中はお手洗いには行けません。タンクから出る場合でも最短 10 分を要します。治療前にお手洗いを済ませ、オムツ着用をお願いしております。
- ② 治療中は100%の酸素を使用するため、火気の原因になる電子機器の持ち込みはできません。 〈持ち込み出来ない物〉
- ・静電気が生じやすい衣類(当院指定の治療着は綿100%)・使い捨て、ベンジンカイロなど熱を生じる物
- ・マッチやライターなど火災につながるもの

- ・腕時計や指輪などの装飾品
- ・携帯電話、スマートフォン、音楽プレイヤー、タブレット端末などの電子機器
- ・治療前に持ち込み出来ない物など説明いたします。治療直前も治療を安全に行うため再確認いたします。

突発性難聴に対して高気圧酸素治療を行う場合、一連で最大 30 回まで治療を受けていただくことが可能です。(保険適応)

初診時に治療を受けるための検査(胸部レントゲン、心電図、採血、MRI など)を行います。

問題がなければ、当日の治療も可能です。

## ■交通のご案内

- 鹿児島空港から直行バスで鹿屋バス停まで約90分、鹿屋バス停から徒歩で約15分
- 鴨池フェリーから垂水市へ約 40 分、垂水フェリーのりばからタクシーで約 40 分
- 大隅縦貫道東原インター、または大隅縦貫道笠野原インターをおりて約 15 分
- 無料の駐車場がございます。

【お問い合わせ】「高気圧酸素治療の件です」とお伝えください。担当窓口へおつなぎいたします。

